

九州鉄道機器製造
株式会社

「レール用継目板 矯正ラインの工程自動化に向けた 熱変形状況の実態調査」

【業種:ソフトウェア業】

鉄道用分岐器の製作、各種レール加工、レール用継目板製作、レール溶接工事、
トンネル用支保工製作、鉄道車両部品、各種照明販売、不動産賃貸事業



【会社の特徴】

創業 1921 年(大正 10 年)鉄道用分岐器部品販売を開始し、現在までに分岐器の製作、継目板、その他軌道用品の製作、レール溶接工事など生活に欠かせない安全を担う部分に長年の経験と技術を重ねて鉄道業界でも信頼を築いてきました

鉄道以外でもトンネル用の支保工製作、道路照明販売なども手掛けています 昨今では、北九州市のオンリーワン企業として全国に出荷しているレール用継目板の製造ラインでは自動化をすすめ産業用ロボットの導入により新たなものづくりの挑戦をつづけています。

年齢、職歴に関わらずチャレンジをできる企業として人材育成にも力を入れています

代表取締役社長 大野 浩司
〒800-0028 北九州市門司区下二十町 2 番 30 番
設立:1945 年 10 月
H P:<https://www.kyutetsu.com/>



対象学生

希望する大学	■九工大 ■北九大 ■早稲田
希望する学科	■機械系 ■情報系
その他の希望	■大学生(3.4 年生) ■大学院生(前期・後期)

実習内容

レール用継目板は強度を確保するため硬化焼入れを行い材料の強度を高める必要があり、生産工程で加熱炉による昇温と直後に水冷を行う焼入れを実施している。現状では加熱・急冷により歪みが発生するため、元の形状に戻すプレス矯正を人手で行っているが、本作業は3K 作業である。

今回の実習では、この工程の自動化のため”歪みの発生状況の計測・定量化とその発生要因を探る”ための実態調査(矯正作業の実態:矯正力とその載荷位置の計測)を実施し、自動化に向けた検討を専門家と行う。

勤務予定地	〒800-0028 北九州市門司区下二十町 2 番 30 号	交通機関	JR小森江駅 最寄駅から徒歩5分 ※車通勤可
担当者	南雲 昌枝(総務人事部)	TEL	093-381-1731
期間	8/19～面談にて決定(相談可)	受入人数	1 人
勤務時間	8:00-17:00 ※応相談可(半日勤務 可、遠隔可)		
給与	時給:1,500 円		
交通費	応相談		